



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：米国人元戦争捕虜（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から米国人元戦争捕虜の関係者3名が2018年10月8日～10月13日の日程で来日しました。対日理解促進を目的としたプログラムに参加し、視察や日本人との交流を通じて幅広く日本を理解する機会を持ちました。

【参加国・人数】

米国：3名

【訪問地】

東京都（全員），岡山県（1名），長崎県・福岡県（1名），兵庫県・滋賀県（1名）

2. 日程

10月8日(月)	【来日】		
10月9日(火)	【表敬訪問】辻清人外務大臣政務官表敬 【視察】英連邦戦死者墓地		
10月10日(水)	【表敬訪問】在日米国大使館 【視察】浅草寺 【意見交換】テンプル大学		
10月11日(木)	①岡山県	②長崎県・福岡県	③兵庫県・滋賀県
	東京都から岡山県へ移動 【交流】岡山大学 【視察】岡山シティミュージアム「岡山空襲展示室」	東京都から長崎県へ移動 【視察】原爆落下中心地，長崎原爆資料館	東京都から兵庫県へ移動 【視察】大阪捕虜収容所第18分所跡地，川崎製鋼跡地
10月12日(金)	【視察】後樂園，岡山城 岡山県から東京都へ移動	長崎県から福岡県へ移動 【視察】福岡捕虜収容所大23分所跡地 福岡県から東京都へ移動	兵庫県から滋賀県へ移動 【視察】大阪捕虜収容所第25分所跡地 【視察】彦根城 滋賀県から東京都へ移動
10月13日(土)	【帰国】		

3. プログラム記録写真



10/9 【視察】英連邦戦死者墓地



10/10 【意見交換】 テンプル大学



10/11 【交流】 岡山大学



10/12 【視察】 岡山城



10/11 【視察】 原爆落下中心地



10/12 【視察】 福岡捕虜収容所大 23 分所跡地



10/11 【視察】 川崎製鋼跡地



10/12 【視察】 大阪捕虜収容所第 25 分所跡地

4. 参加者の感想

◆テンプル大学の学生，米国大使，米軍高官，外務省高官などすべての方々が優しく接してくれました。テンプル大学の学生は私たちの話に耳を傾け，質問をしてくれました。私たちの親に対して格別の敬意を払ってくれたことが嬉しかったです。すべての方々に感謝しています。実際の日本人の姿を目の当たりにして，日本人に対する尊敬と感謝の念が深まりました。岡山大学の大学生との交流は本当に素晴らしかったです。捕虜の経験を聞くのは初めてのようでしたが，多くの学生がこのような歴史を語り継ぐことを約束してくれました。

◆このプログラムが継続し，私たちが体験したような機会が子孫達にも提供されることを心から望んでいます。プログラムは興味深く，眼を開かされるもので，様々な情報を提供してくれました。私の父が経験したこと，特に地元の人々との好ましい交流について，より深く理解することができました。

日本で父の収容所跡地を訪問する機会を得られたことに感謝したいと思います。この訪問は自分にとってとても意義のあるものでした。原爆により傷ついた人々の苦難についてもより深く学ぶことができました。原爆が二度と使用されないことを心から望んでいます。

◆収容所の跡地を訪問できたことが印象的でした。神戸，米原，両方の場所で収容所の名残はほとんど何もありませんでしたが，地元の住民と話げできたお陰で収容所跡地を「再構築」することができました。